

大きなアンテナがひらく
未来の扉、届ける安心

ETS-VIII

— Engineering Test Satellite—VIII —

H-IIAロケット11号機による

技術試験衛星Ⅷ型「きく8号」打上げ

打上げ予定日：平成 18 年 12 月 16 日(土)

打上げ時間帯：15時32分～15時44分

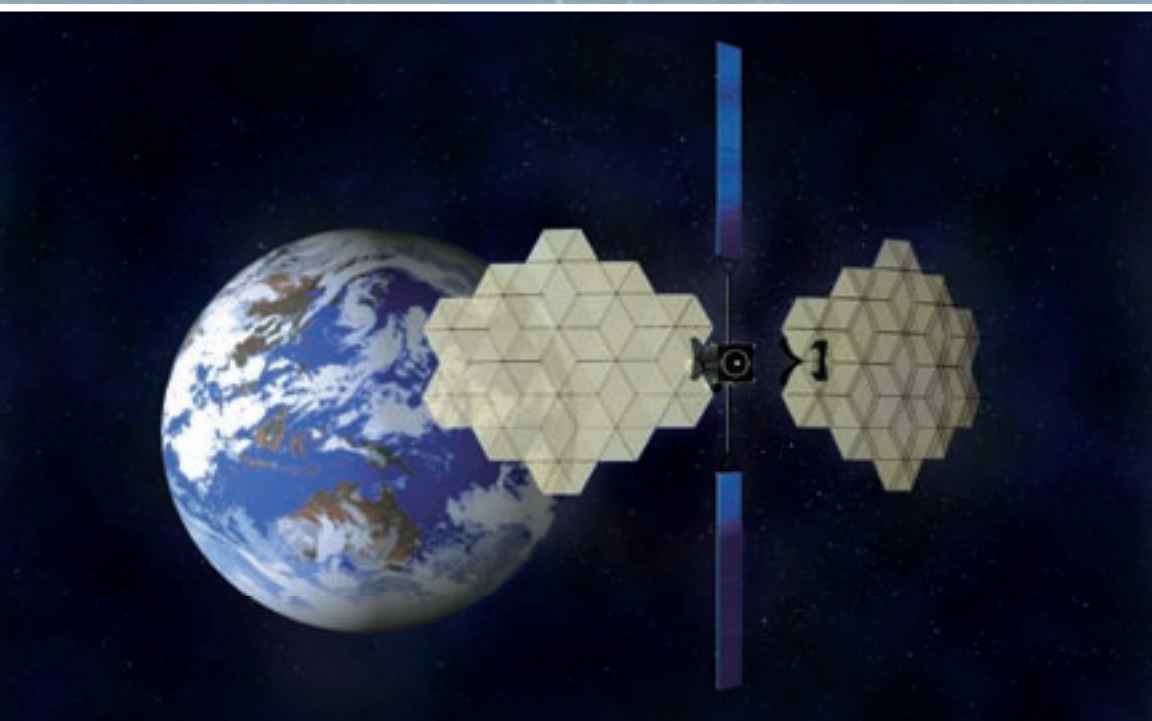
打上げ予備期間：平成18年12月17日(日)～平成19年2月28日(水)

打上げ場所：種子島宇宙センター 大型ロケット発射場

きく8号/H-IIA11号機 特設サイト http://www.jaxa.jp/countdown/f11/index_j.html



Engineering Test Satellite-VIII



技術試験衛星Ⅷ型 「きく8号」

これまでわが国は、時代のニーズに対応した衛星技術の開発を目的として、ETS-I「きく1号」からETS-VII「きく7号、おりひめ・ひこぼし」までの技術試験衛星シリーズを打ち上げてきました。

「きく8号」(ETS-VIII)は8番目の技術試験衛星で、2つの大型展開アンテナと2つの太陽電池パドルをもった、世界最大級の静止衛星です。今後の多様な宇宙活動への応用が期待されるとともに、携帯電話やモバイル機器などの通信需要の増大へ対応するものです。



静止軌道上3トン級の 大型静止衛星バス技術

今後の多様なミッションに対応する世界最高水準となる静止軌道上3トン級の衛星バス技術を実証します。

19m×17mの 大型展開アンテナ技術

地上端末の小型化を可能にする、高精度でロバストな世界最大・最先端のモジュール構造のSバンド周波数に対応する大型展開アンテナ技術を実証します。



携帯端末による 移動体衛星通信システム技術、並びに 画像や高品質な音声の伝送を可能とする 移動体衛星デジタルマルチメディア同報通信 システム技術

携帯電話サイズの端末で静止衛星と直接通信し、小型・携帯端末でコンパクトディスク(CD)並みの高品質な音声や画像の伝導を可能とする移動体音声通信実験及び移動体高速パケット通信実験を行います。

静止衛星による 衛星測位システム基盤技術

静止衛星に搭載された高精度時刻基準装置による衛星測位システムの高度化をめざした基盤技術の実験を行います。

主要諸元

項 目	諸 元
打上げロケット	H-IIAロケット(H2A204型)
打上げ場所	種子島宇宙センター
衛星質量	約5.8トン(打上げ時)
発生電力	約7,500W(打上げ3年後)
設計寿命	打上げ後10年(バス機器) 打上げ後3年(ミッション機器)
寸法	本体(打上げ時):約7.3m×4.6m×3.7m (高さ×横×縦) アンテナおよび太陽電池パドル展開時(軌道上):約40m×40m (横×縦)
軌道高度	約36,000km(静止軌道:146° E)

宇宙航空研究開発機構 広報部

〒100-8260 東京都千代田区丸の内1-6-5 丸の内北口ビルディング 2F

TEL : 03-6266-6400

- JAXAホームページ
- きく8号/H-IIA11号機 特設サイト
- メールサービス

<http://www.jaxa.jp>
http://www.jaxa.jp/countdown/f11/index_j.html
<http://www.jaxa.jp/pr/mail/>

